2019年3月期第2四半期 決算説明会



2018年11月22日 証券コード:3098



事業の方向性

3

決算Review 事業の方向性

2019年3月期上期 決算概要

7

業績ハイライト 計画対比(P/L) 前年同期比(P/L) 既存店売上高伸長率推移 商品分類別売上構成 売上総利益推移 販売管理費推移 連結貸借対照表 連結キャッシュフロー計算書

2019年3月期 重点施策

19

- ITを活用した顧客戦略
- ITを活用した生産性の向上
- 薬価・診療報酬改定の影響と対応の進捗状況

2019年3月期 通期見通し

26

出退店 上期実績・通期計画・見通し 設備投資 上期実績・通期計画・見通し 連結業績の見通し 中期経営計画

IRコンタクト



事業の方向性



- ①ドラッグストア事業→災害・天候不順による売上減
- ②調剤事業
 - →薬価・診療報酬改定の影響は想定通り
- ③ 調剤店舗を中心とした 出店強化による規模拡大推進

事業の方向性



cure領域を強化

		店舗数		cure	c are	fine
	2018年3月末	増減	2018年9月末		care	Tille
健康サポート薬局	6	+4	10			
調剤専門店	162	+10	172			
Drug store + Pharmacy	103	▲2	101			
ドラッグストア	1,051	A1	1,050			

cure 地域密着型の健康サポート薬局づくりを推進



[健康サポート薬局]

2018年3月末 6店舗

2019年3月末目標

25店舗

2022年目標 **100**店舗



ココカラヘルスキャンペーン



<取り組みテーマ>

- ・感染症対策
- ・糖尿病対策
- ・デトックス
- ・禁煙対策
- ・マウスケア
- ・温活

従業員を健康にする

健康経営



ホワイト500とは

国(経済産業省)が、特に優良な健康経営 を実践している企業を顕彰する認定制度 地域・顧客の 健康力を向上させる

cure

care

fine

「治すし

「整える」

「キレイ ゲンキ」



2019年3月期上期 決算概要



- ①ドラッグストア物販→災害・天候不順による売上減
- ②調剤事業→薬価・診療報酬改定の影響は想定通り
- ③調剤店舗を中心とした出店強化による規模拡大推進

売上高

- ◇ドラッグストア事業
 - 6月:大阪北部地震、7月:平成30年7月豪雨、9月:台風21号・北海道胆振東部地震 などの自然災害、猛暑・長雨など天候不順による影響等で、計画比▲52億円未達
 - ・既存店伸長率:上期計画+1.6%→実績▲1.5%
- ◇11店舗純増(出店32・閉店21)となり、期末店舗数は1,333店舗
 - ・調剤取扱店舗は283店舗(12店舗純増)となり、 薬価改定影響下でも調剤売上は280億円(前期比106.4%)

売上総利益

- ◇ドラッグストア事業
 - 売上総利益率が前期比+0.6%ポイント改善、利益率は計画通り推進 しかし売上減の影響が大きく、金額ベースでは、計画比▲14.5億円未達 (前上期実績 27.1%→上期計画27.7%→上期実績27.7%)
 - ・①高付加価値商品の販売強化、②品揃え・売価・販促の標準化、③在庫口ス改善
- ◇調剤事業
 - 薬価・診療報酬改定の影響は想定通り、売上総利益額は計画ベースで進捗 (前上期実績105億円→上期計画107億円→上期実績107億円)
 - ・地域支援体制加算、後発医薬品調剤体制加算の対応を推進



販売管理費

- ◇販売管理費は、計画対比▲7億超を圧縮 (前上期実績 449億円→上期計画 483億円→上期実績 475億円)
 - ・店舗インフラ標準化による店舗作業の効率化、改装投資の一巡化

結果

・売上高	200,57	76百万円 (前期比	102.6%、計画比98.3	3%/▲3,424百万円)
・売上総利	益 53,22	23百万円 (前期比	103.8%、計画比97.3	3%/▲1,477百万円)
・販売管理	費 47,51	L 7 百万円 (前期比	105.6%、計画比98.4	4%/▲783百万円)
・営業利益	5,70)5 百万円 (前期比	90.5%、計画比89.29	%/▲694百万円)
・経常利益	6,84	13百万円 (前期比	91.6%、計画比91.29	%/▲657百万円)
・ 親会社株主に 四半期純利益		1 百万円 (前期比	86.0%、計画比84.3°	%/▲738百万円)



(単位:百万円)

		2019年3月期 上期計画	2019年3月期 上期実績	計画差異	計画比 (%)	計画比増減要因
Ē	売 上 高	204,000 (100.0%)	200,576	▲ 3,424	98.3	◇ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動
	ドラッグストア	155,869	150,634	▲ 5,235	96.6	(計画+0.6% → 実績▲1.8%) ・災害·天候不順等による客数減、季節商材の不調 ◇ 出店:計画36店舗→実績32店舗
	 調剤	27,376	28,078	+703	102.6	退店:計画17店舗→実績21店舗 ◇ 新規調剤店舗における計画比上振れ
	 卸売・介護 	20,754	21,862	+1,109	105.3	◇ 取引先数増加等により卸売増
	売上総利益	54,700 (26.8%)	53,223 (26.5%)	▲ 1,477	97.3	◇ ドラッグストア売上減、卸売増など売上構成の 変動による利益率低下
	販売管理費	48,300 (23.7%)	47,517 (23.7%)	▲ 783	98.4	◇ 人件費増◇ 店舗インフラ標準化による店舗作業の効率化、改装投資の一巡化による販管費減
	営業利益	6,400 (3.1%)	5,705 (2.8%)	▲ 694	89.2	
	経常利益	7,500 (3.7%)	6,843 (3.4%)	▲ 657	91.2	
	社株主に帰属する 四半期純利益	4,700 (2.3%)	3,961 (2.0%)	▲ 738	84.3	◇ 特別損失429百万円(+379百万円増)・災害(地震・台風・豪雨等):96百万円・電話加入権売却(減損):123百万円・遊休資産一括売却(減損):115百万円

前年同期比(P/L)

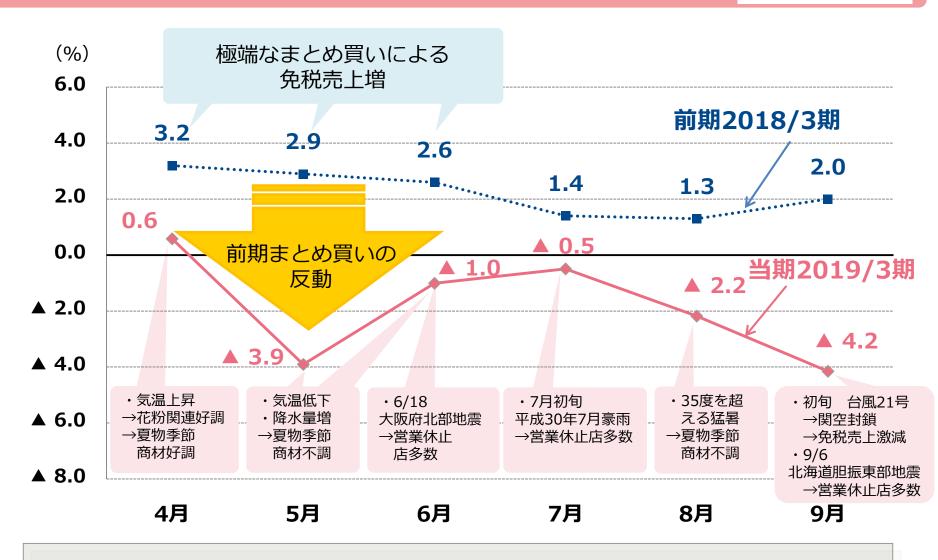


(単位:百万円)

		2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	増減	前期比 (%)	前期比増減要因
5	志 上 高	195,486 (100.0%)	200,576	+5,089	102.6	◇ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動
	ドラッグストア	149,239	150,634	+1,395	100.9	(前期+2.2% → 実績▲1.8%) ・前期におけるまとめ買い売上増の反動 ・災害・天候不順等による客数減、季節商材の不調
	調剤	26,400	28,078	+1,678	106.4	◇ 出店:32店舗、退店:21店舗◇ 取引先数増加等により卸売増△ (性) 悪点体のスクは化に トスクボギーは
	 卸売・介護 	19,846	21,862	+2,015	110.2	◇ (株)愛安住の子会社化による介護売上増
	売上総利益	51,294 (26.2%)	53,223 (26.5%)	+1,928	103.8	◇ ドラッグストア物販売上総利益率の改善 ・前期27.1%→当期27.7%
	販売管理費	44,986 (23.0%)	47,517 (23.7%)	+2,530	105.6	◇ M & A 、スクラップ & ビルドによる店舗規模 拡大
	営業利益	6,307 (3.2%)	5,705 (2.8%)	▲ 601	90.5	
	経常利益	7,469 (3.8%)	6,843 (3.4%)	▲ 626	91.6	
	社株主に帰属する 四半期純利益	4,608 (2.4%)	3,961	▲ 646	86.0	◇ 特別損失429百万円(+206百万円増) ・災害(地震・台風・豪雨等):96百万円 ・電話加入権売却(減損):123百万円 ・遊休資産一括売却(減損):115百万円

既存店売上高伸長率推移





既存店(累計) 売上高: 1.8%減 客数:1.7%減 客単価:0.2%増

※ 客数・客単価:調剤を除く、小売のみの実績

商品分類別売上構成



			2018年3月期 上期実績 2019年3月期			3月期 上期実統	績	
			売上高 (百万円)	構成比	前期比	売上高 (百万円)	構成比	前期比
医	薬	品	52,940	30.1	104.6	53,766	30.1	101.6
	うち調	剤	26,400	15.0	110.6	28,078	15.7	106.4
化	粧	品	53,288	30.3	104.7	55,054	30.8	103.3
健	康 食	品	5,353	3.0	99.5	5,609	3.1	104.8
衛	生	品	19,732	11.2	100.2	19,172	10.7	97.2
日	用生活商	品	24,991	14.2	101.2	24,970	14.0	99.9
食		品	19,333	11.0	103.6	20,140	11.3	104.2
全	店	計	175,640	100.0	103.4	178,713	100.0	101.7
卸		売	18,957	-	109.4	20,289	-	107.0
小		計	194,597	-	103.9	199,003	-	102.3
介	護事	業	890	-	72.1	1,574	-	176.8
* t	z グ メ ン ト 間 取 引 :	消 去	▲1	-	-	▲1	-	-
全	社	計	195,486	-	103.7	200,576	-	102.6

■ 調 剤 :薬価・診療報酬改定の影響による押し下げを、出店・M&A等による店舗増でカバー

■ 化 粧 品 : インバウンドによる押し上げ、新商品も好調

■ 食 品 : 今夏の猛暑による影響で、経口補水液などの飲料等が好調

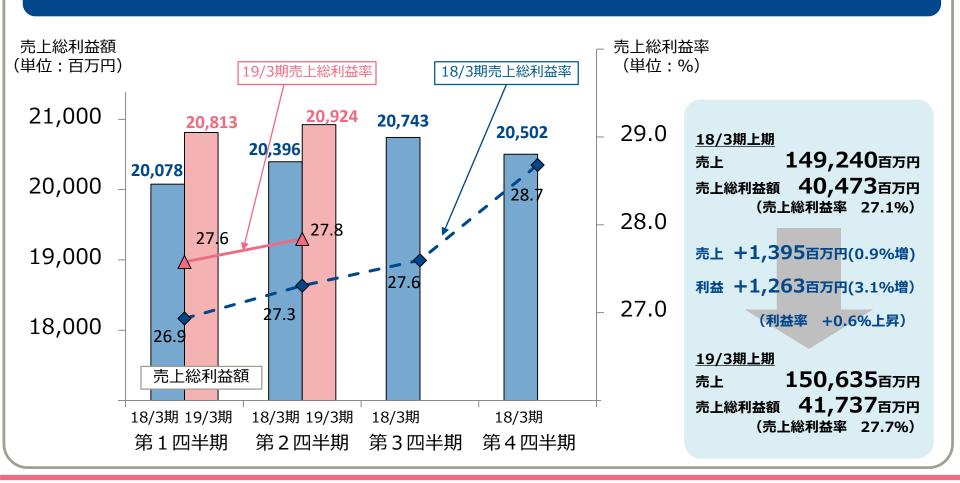
■ 卸 売 :取引先数増加等

■ 介護事業 : ㈱愛安住の子会社化による売上増



ドラッグストア事業【全店】

・売上総利益率は前期27.1%→実績27.7%となり、利益率は前期比0.6%改善→売上総利益は金額ベースで+3.1%伸長(売上高は+0.9%伸長)

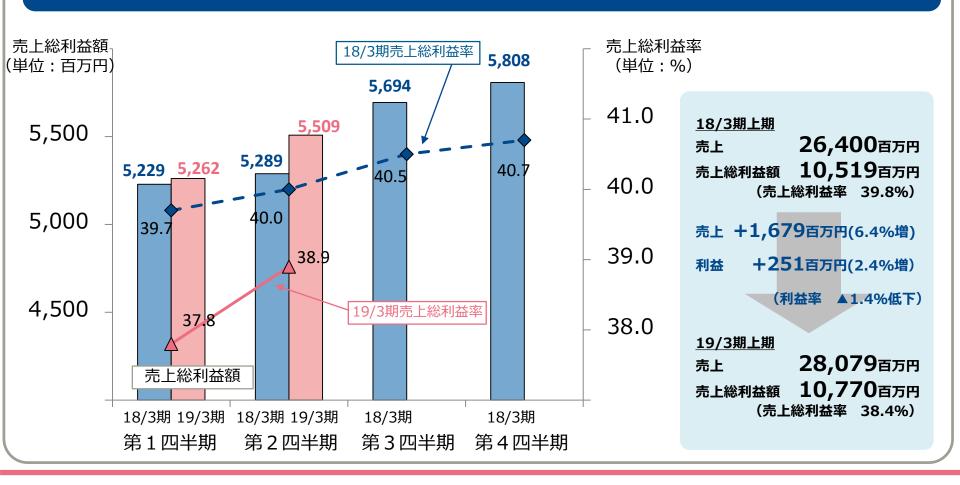


売上総利益推移



調剤事業【全店】

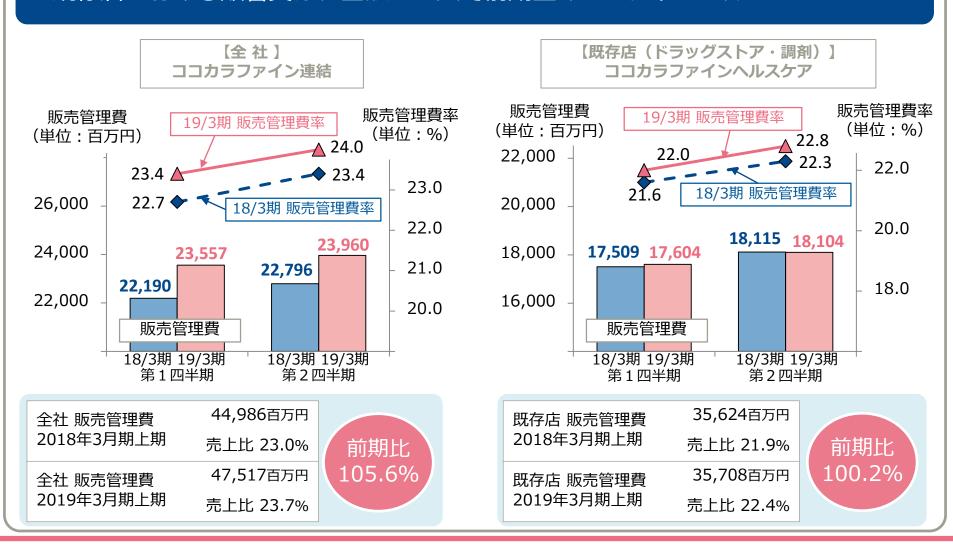
- ・M&Aによる規模拡大や薬価・診療報酬改定の影響で、利益率の変動幅大
- ・薬価・診療報酬改定の中、金額ベースでは計画通り前期実績を確保



販売管理費推移



- ・災害・天候不順等による売上減の影響を受け、販管費率は上昇
- ・既存店における販管費は、金額ベースで前期並みにコントロール



連結貸借対照表



2018年3月末 2018年9月末



※2018年3月末実績は会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値です。

2018年3月期末との比較

(単位:百万円)

流動資産	+23,996	固定資産	+2,151	負 債	+23,067	純資産	+3,079
現金及び預金	+20,972	有形固定資産	+868	買掛金	+22,504	利益剰余金	+3,050
たな卸資産	+767	無形固定資産	▲81	未払法人税等	▲ 1,637		
その他	+2,298	投資その他の資産	+1,364	その他流動負債	+1,923		

連結キャッシュフロー計算書



■ 2018年3月期上期 ■ 2019年3月期上期



2019年3月期上期の主な状況

営業キャッシー	- コワー
---------	-------

呂耒イヤッンエノロー

税金等調整前四半期純利益	6,416
減価償却費及びその他の償却費	1,740
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲ 767
仕入債務の増減額	22,476
法人税等の支払額	▲3,792

投資キャッシュフロー

右取用字姿度の取得にトス士山

A 1,807
▲422
▲ 1,231
327

財務キャッシュフロー

配当金の支払額	▲911
その他	▲ 107

現金及び現金同等物の増減額

現金及び現金同等物の 増減額

20,937

(単位:百万円)



2019年3月期 重点施策

- ITを活用した顧客戦略
- ITを活用した生産性の向上
- 薬価・診療報酬改定の影響と対応の進捗状況

ITを活用した顧客戦略①



プリペイド利用販促

『プリペイド化に向け全方位への声かけ』から『データに基づいた 効率的なアプローチ』に変更し、プリペイド残高は飛躍的に向上

ココカラクラブカード



稼働会員数

2018年3月

2018年9月

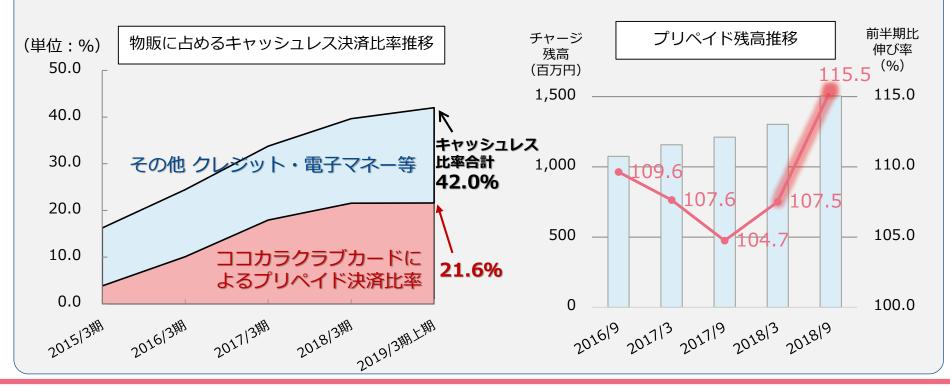
700_{万人} ▶ 712_{万人} 75.3_% ▶ 74.0_%

会員売上比率

2018年3月期

2019年3月期上期

高水準を 維持



ITを活用した顧客戦略②



1to1マーケティングの確立へ

2つのアプリは確実に顧客数増大

ドラッグストア

ココカラ公式アプリ



累計ダウンロード数

2018年3月末 2018年9月末

マイ店舗登録数

2018年3月末 2018年9月末

●店舗独自のお買得情報が見れる

クーポン

チラシ

お知らせ

●店舗独自の商品在庫が見れる

調剤薬局

お薬手帳アプリ

2018/5月

連携





累計ダウンロード数

2018年3月末 2018年9月末

3.4_万 **7.2**万 処方せん事前送信件数

2018年3月 (月間)

2018年9月 (月間)

0.7万

1.0ந

全処方せんの2.4%

●医療機関で処方せんを受け取った 段階で調剤の予約ができる

ITを活用した顧客戦略③



ECの店舗受け取りサービス開始



2018年8月

神奈川県60店でスタート



2018年10月

関東全域317店舗に拡大



小さな店舗でも必要な ものをまとめて買える

店舗評価アンケート

2017年12月 アプリ会員対象 来店後アンケート システムをスタート



2018年9月 お客様による店舗評価 10万件/月 お客様のコメント 1万件/月



年換算で

店舗評価 120万件 コメント 12万件 のデータ蓄積

- ●新しいニーズの発見
- ●店舗評価制度

ITを活用した生産性の向上①



顧客情報処理簡素化

店 舖 グループ会社

入力業者

入力

これまでの 作業

月間10万件の 新規個人情報 ・氏名

厳重保管

記入漏れ 郵送

郵送

チェック等 ・ 郵送後も

記録を保管

2018年8月 システム スタート



• 住所

• 電話番号

送 雷

- ・端末で個人情報をスキャン
- ・電送後データは抹消
- ・用紙はシュレッダーへ

- 年間数万時間の 作業効率化
- 個人情報紛失等 のリスク削減

商品の在庫ロス対策強化

● 商品□ス対策機能

ロスにつながる可能性の高い 発注にワーニングを出す

♀ ▼ 1 11:02 売場欠品一覧

● 店舗ネットワークカメラ強化

店舗の状況を 本部・バックオフィスで把握





在庫ロス率が著しく低下



売上総利益率向上

ITを活用した生産性の向上②



POSレジの全店入れ替え、タブレット端末の全店導入



(タブレット型POSレジ導入のメリット)

- ・移動可能なレジ
- ・需要に応じてレジ台数コントロール
- ・接客時の説明ツールや業務用 パソコンとしての活用も視野に

新規販促導入

決済の多様化

(導入スケジュール)

2018年12月	2019年 1月~3月	2019年 4月~9月
テスト ^導 (1店舗	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	>
		全店導入

薬価・診療報酬改定の影響と対応の進捗状況



(グラフ内の数値は該当店舗数)

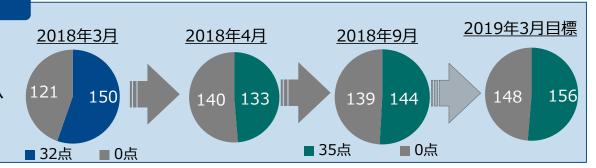


要件変更により一部店舗での加算点数減少



影響 2 基準調剤加算→地域支援体制加算

従来の基準調剤加算が廃止され、 地域支援体制加算が新設 要件変更による算定店舗数の減少



影響 3 後発医薬品調剤体制加算

算定要件変更による 算定可能店舗数の減少



影響4 薬剤服用歴管理指導料

調剤手数料の増加

影響 5 薬価改定 薬価差益額の減少



2019年3月期 通期見通し

出退店上期実績・通期計画・見通し



		2019年3月期 上期実績 2019年3月期 通期		期 通期計画	
			内調剤取扱店		内調剤取扱店
出店※	ドラッグストア	+21	+2	+49	+16
Ш/П *	調剤専門店	+11	+11	+17	+17
		+32	+13	+66	+33
退店	ドラッグストア	▲21	▲1	▲ 25	-
	調剤専門店	0	0	-	-
		▲21	▲1	▲ 25	-
業態変更	ドラッグストア	0	0	_	-
未必交叉	調剤専門店	0	0	-	-
		0	0	-	-
期末店舗	ドラッグストア	1,156	106	1,180	121
MINCHE I	調剤専門店	177	177	183	183
		1,333	283	1,363	304
改装店舗 (看板変更_	数 ・小改装含む)	38		89	
	(内500万円以上)		22		56 ※M&A等含む

通期着地見通し

出店数 70~80店舗

退店数 30~40店舗

期末店舗数 計画通り

改装店舗数70~80店舗 (内500万以上30~40店舗)

設備投資上期実績・通期計画・見通し



(単位:百万円)

	2019年3月期 上期実績	2019年3月期 通期計画
設 備 投 資	4,320	11,000
合計	5,849	15,016
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,961	10,600
減 価 償 却	1,740	4,130
のれん償却	148	286

通期着地見通し

設備投資額 9,000~10,000 百万円程度

連結業績の見通し



					上期				通期		
					計画		実績		計画		
					百万円 構成比(%)	前期比	百万円 構成比(%)	計画比 (%)	計画差異(百万円)	百万円 構成比(%)	前期比 (%)
売		上		高	204,000	104.4	200,576	98.3	▲3,424	412,000 (100.0%)	105.4
	ドラ	ッグス	ストア		155,869	104.4	150,634	96.6	▲ 5,235	313,859	106.1
	調剤				27,376	103.7	28,078	102.6	+703	56,877	103.9
	卸売	・介語	蒦		20,754	104.6	21,862	105.3	+1,109	41,263	102.3
売	上	総	利	益	54,700 (26.8%)	106.6	53,223 (26.5%)	97.3	▲1,477	112,500 (27.3%)	107.5
販	売	管	理	費	48,300 (23.7%)	107.4	47,517 (23.7%)	98.4	▲ 783	97,800 (23.7%)	107.5
営	業		利	益	6,400 (3.1%)	101.5	5,705 (2.8%)	89.2	▲ 694	14,700 (3.6%)	107.2
経	常		利	益	7,500 (3.7%)	100.4	6,843 (3.4%)	91.2	▲ 657	17,000 (4.1%)	106.1
親会	社株 期	主に純	帰属す	する 益	4,700 (2.3%)	102.0	3,961 (2.0%)	84.3	▲ 738	10,600 (2.6%)	116.9



2020年3月期を最終年度とする中期経営計画

2020年3月期

売上高

4,200億円

経常利益(率)

220億円(5.2%)

2018年3月期

売上高

3,909億円

経常利益(率)

160億円(4.1%)

ROA(経常利益)

10.5%

ROE(当期利益)

10.6%

目標とする経営指標

ROA(経常利益)

10%以上

ROE(当期利益)

10%以上

I Rコンタクト



お問い合わせ 株式会社 ココカラファイン

コーポレートリレーション部

TEL: 045-548-5937

FAX: 045-470-3684

https://corp.cocokarafine.co.jp/

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。